

2019年度 平和学習会

グリーンコープ共同体組織委員会

# 「人と人との結びつき」を大切に 平和を守り共生を目指す

## 「グリーンコープの困窮者支援の始まりと地域づくり」

共同体組織委員会では、組合員一人ひとりが平和について広い視野で考え、深めようと、毎年、平和学習会を開催しています。

10月21日、福岡市で2019年度の平和学習会が開催されました。

生活再生相談室を立ち上げ、グリーンコープの生活困窮者支援の取り組みを牽引してきた行岡みち子さんを講師に招き、人と人との出会い、結びつきを大切にするのが平和を守ることに繋がることが学びました。講演の要旨を報告します。



講師 行岡 みち子さん  
グリーンコープ生協連合会常務理事  
生活再生事業推進室長  
2006年、生活再生事業を開始し、生活再生相談室長に就任。2010年、路上生活者支援のためのファイバーリサイクル事業を開始し、就労支援に取り組む。2012年～現在まで、厚生労働省の家計相談支援事業検討会等委員、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク事務局長。



参加者から講師への質問も活発に行われた

**連帯・協同・共生する  
地域の創出を目指して**

グリーンコープは、「自然と人」「人と人」「女と男」「南と北」の4つの

共生を事業理念に掲げて活動しています。みんなが豊かに生活するために、連帯して何ができるのかを考え、事業としてつくり出し、共に生きていくことができる地域社会を築き上げたいと願ってきました。共同購入やお店の事業を地域に還元できるものにし、と考える中で、福祉など様々な取り組みを事業として生み出しています。

制度も活用しながら、制度がなければ自分たちでつくり出して、暮らしやすい地域を実現したいと取り組んできました。例えば、以前は多重債務者の相談に乗って、その人の生活を応援するという制度などありませんでした。なければグリーンコープが独自の事業としてつくり出す。それがモデルとなり、国の生活困窮者自立支援制度の一つとして、全国に普及。グリーンコープの枠を越えて多くの人々の支援につながっています。

目指すのは、市民参加

型の新しい社会、「連帯・協同・共生地域」の創出です。

**生活再生相談室の  
立ち上げ**

グリーンコープでは、多重債務問題の解決に向けて2006年に生活再生相談室を開設しました。多重債務に陥った人が生活の基盤を立て直すことができるように、お手伝いをしています。相談には様々な方が来られるので、私自身の中でいろいろと葛藤もありましたが、問題が解決して相談に来られた方の表情がとて穏やかになるのを見た時、お役に立てたと実感する中で、相談者に学びながら、業務を続けられました。

生活再生相談室の大きな特徴として貸付もしています。なぜ借金をしている人にお金を貸すのかと、開所に向けた検討の中で、多くの組合員が反対しました。しかし事業が始まると、相談に来られた方の8割が組合員でした。グリーンコープで相談室を開いたことで、やっと相談できる場所ができた、迷った末に来られる方が多かったのです。

### 就労支援の取り組み

生活困窮者が就労し、自立するためのステップとして、グリーンコープの職場で就労訓練をする仕組みをつくっています。



ファイバーリサイクルセンター



青果リパックセンター

貸付の事業は、グリーンコープが購買生協として日本で初めて行ったことで、全国的にも大変注目を浴び、国会でも話題になりました。

**相談者に伴走して  
信頼関係を築く**

生活再生相談室で大事にしたいと思ったことが三つあります。一つは、相談に来られた方が、人としての誇りと自信を取り戻せるようにすること。二つ目に、家族関係

や人間関係を回復できるようにすること。三つ目に、経済生活そのものの再生です。

グリーンコープが大切にしてこれからの思いは、そのまま生活困窮者自立支援制度の中に活かされています。貸付するだけでなく、相談者の状況や事情に合わせ、就職先の斡旋や、様々な支援機関につなぐこともしています。自立に向けて一人ひとりに伴走して支援すること、相談に来ら

**支えあい助けあう  
「共生」と「平和」は  
一つのもの**

当初、相談業務は私には向いていないと思って

いました。が、少なくとも私は相談に来られた方たちと一緒に泣くことはできるので、その方の気持ちに寄り添って自分のできることをやってみようと思えます。

グリーンコープは人と人との結びつきを大切に、支えあい、助けあつて誰もが活かされる社会をつくろうと歩み続けています。生活に困窮し、人との結びつきを失った人たちが、前を向いて歩き出し、人とのつながりを取り戻していくためのお手伝いを、これからも続けていきたいと思えます。

### 社会福祉法人グリーンコープに 新しく組合員理事長が誕生

今年10月、組合員として初めて社会福祉法人グリーンコープの理事長となった宇都宮陽子さんに話を聞きました。



社会福祉法人グリーンコープ 理事長  
グリーンコープ生協おいた 理事長  
宇都宮 陽子さん

社会福祉法人グリーンコープの代表となった責任の重さを実感しているところです。これまでも生協活動の中で、一人の母親、一人の女性、一人の人間としての思いを伝えてきたのと同じように、このままの私であり続けることが大事だと思っています。

4年前、おいたの理事長になって実感したのは、グリーンコープには組合員・ワーカー・職員と様々な立場の人たちが集まっているということ。それだけたくさんの方の視点を活かすためにも、人と人をつないでいくことが生協の理事長としての自分の役目だと考えてきました。社会福祉法人でも、ワーカーと組合員がさらに近い存在になれるようにつないでいきたいですね。

社会福祉法人には、ワーカーや組合員、職員が集まって自分たちの地域の事業について考える場として各県に経営委員会があります。まずは県ごとの経営委員会を活性化することで、地域をもっともっと元気にしたいと考えています。ワーカーズと協力しながら、より良く暮らしやすい地域をつくっていききたいと思っています。何ができるのか、とてもワクワクしています。